

東口 重信 議員



- 問**
- 1、町の有害鳥獣対策の現状は
 - 2、農林業被害は
 - 3、猟友会の現状と育成計画は

産業経済課長

1、有害鳥獣等捕獲強化制度の改正により、猟友会員の指揮監督の下で、狩猟免許を有しない者でも、講習を受けた後、罠の点検、見張り、通報、止め刺しの補助を行えるようになった。

町の集落から、捕獲隊の結成の要望はない。専門業者に依頼した申請は1件あった。

23年度の捕獲数は、二ホンジカ70頭、イノシシ44頭、ツキノワグマ10頭、合計124頭である。

2、24年度の被害状況は、水稲で47・9ヘクタール、被害額117万5千円、野菜が

18・5ヘクタールで、689万5千円となっている。

3、町の猟友会員は30代が3名、40代が3名、50代が3名、60代が9名、70代が4名で、女性1名を含め23名である。会員のうち、有害鳥獣駆除班員は11名である。

狩猟免許を取得しているハンターは減少傾向にあり、罠で捕獲した野生鳥獣を止め刺しする猟銃の使用が必要であるが、所持会員も減少している。

猟銃取得に最低40万円程度の費用もかかり、厳しい管理と手続費用も必要であり、補助制度の検討や捕獲隊の啓発を進め、狩猟者の育成を図っていきたい。



浅間山麓で捕獲されたツキノワグマ

公設の合葬式聖地の整備を

調査研究していきたい

野元 三夫 議員



問 合葬式聖地とは、従来のお墓と異なりひとつのお墓に他のお骨とともに合葬し、永代に埋葬管理する新しい形態の墓地である。

近年、少子化や核家族化が進みお墓の心配をされる方も増えている。

このような形態のお墓を公設でも検討すべきと考えますが、町の考えは。

町民課長 合葬式墓地は、現代のさまざまな社会的事情によって、必要とされてきた新しいお墓の形態だと思っている。

整備を進める自治体の多くは都市部を中心に広がっているとの認識している。

また単に経済的理由でなく、身内や縁故者がなく、先行きを心配される方があ

ることも存している。

県内では長野市、飯田市、小諸市が運営しており、本

年より松本市、須坂市が供用を開始し、大町市でも建設が行われている。

小諸市の料金体系は、個別埋葬方式で10年（その後は共同方式に移行）が、市民の方は9万円、市外の方は14万円で、共同埋葬方式は、市民の方は5万円、市外の方7万円である。

現在のところ、町民課に合葬式聖地を求める声は寄せられていないが、今後町民のニーズと動向を踏まえ、先進地等の調査研究をしていきたい。



小諸市にある合葬式聖地

栄橋着工による迂回路は

駅北駐車場案を断念

小井土 哲雄 議員



問 栄橋架け替えにより、隣接する道路を先行整備したが、迂回路として使用できない状況である。その経緯と対応について問う。

建設課長 町道「小田井追分線」と町道「御代田停車場線」との交差点においては、当初、片側通行止めでの施工できないか、しなの鉄道や受注業者と協議を行った。

掘削機やクレーン車等を配置し、コンクリート破片や掘削土砂等の搬出作業及び各種資材の搬入作業を行うスペースが必要となり、車両の通行余地がなくなってしまう、早期完成のためにも、やむを得ず車両通行止めとした。

駅北の町営駐車場を迂回路とする案も、担当課として施工前の段階で検討を重ねた。

公に迂回路として指定するには、単にゲートを開放するだけではすまない。ゲートの撤去等、道路交通法の適用が困難であり、万が一の事故に警察が介入することができないなど、さまざまな理由から車両を運転する方、並びに町営駐車場を利用される方の安全・安心を優先するため、駅北の町営駐車場を迂回路とする案は断念した。

企画財政課長 駅北駐車場の利用台数は栄橋工事着工後、短時間の駐車が增えている状況である。

八十二銀行側から入つて保健センター側へ出る利用方法は従前よりあり、いけないということではないが、町が推奨することではない。



駅北駐車場

住宅リフォーム補助金 来年度実施は

来年度の当初予算に計上予定

市村 千恵子 議員



問 住宅の所有者が行う、町内施工者による住宅リフォーム工事に要した費用への補助制度の住宅リフォーム補助は、町民をはじめ、町内の工事者から好評で経済効果も高い。

実施から2年目の今年度は補助金が予算の1千万円に達したため、9月13日で申請が打ち切られた。来年度も実施すべきと考えられるが町の考えは。

建設課長 今年度の申請件数は58件、主なりリフォーム内容は、外壁・屋根の塗装サッシの交換、浴室の改修等で、消費税抜き総工事費が7千564万9千円に対し、999万6千円の補助金を交付決定した。

交付決定後、現在もリフォーム施工中であり、確定に至っていない申請が7件あるが、申請どおりに年

度内には完了届けが提出される予定である。補助金に対して75倍の経済効果が見込める。

今年度の申請終了後にも多数の問い合わせがあった。来年度の実施予定については、来年度の実施計画に今年度と同額の1千万円の予算要求を行い、現在、理事者査定まで終了している。

来年度の当初予算に計上していく予定である。



施工前



施工後